



ニセアカシアの花 2024.5.09 撮影



学校だより

桜の丘

学校教育目標

「心豊かで、主体的に取り組む児童の育成」

浜田市立今福小学校

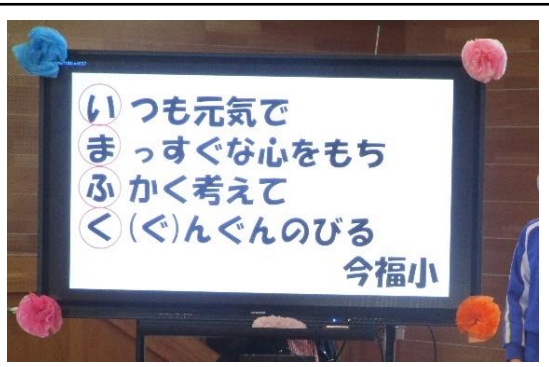
2024年5月22日(水)

令和6年度 No.2

みんなで創る「もっと、もっとすばらしい今福小学校」

今福小学校では、10年後、20年後の社会を生き抜くために求められている「エージェンシー (agency):自ら考え、主体的に行動して、責任をもって社会変革を実現していく力」を養うために、児童会活動にも力を入れています。

その第一歩として4月30日(木)に「1年生を迎える会」を行いました。会の始めに、5名の6年生が最高学年の自覚をもって堂々と「今福小スローガン」を発表し、今年の児童会活動がスタートしました。



これから令和6年度の今福小スローガンを発表します。学級で話し合い、考えを出してください、ありがとうございました。みなさんの思いをもとに、今年のスローガンをつくりました。発表します。

スローガンの言葉の意味を説明します。

「いつも元気で」は、よく遊び、健康で、元気に過ごすこと。「まっすぐな心を持ち」は、まわりの人にやさしくできる心や、何事もあきらめない心のこと。

「ふかく考えて」は、学習でも、生活の中でも、自分でよく考えること。

「ぐんぐんのびる」は、どんどん成長していくこと。

を表しています。

みなさんの思いをもとにつくったスローガンです。スローガンは覚えて、いつも意識して生活しましょう。

みんなで力を合わせて、このスローガンのような学校をめざしましょう。協力していただき、本当にありがとうございました。これでスローガンの発表を終わります。

児童会活動のねらいにある「**よりよい学校生活づくりに参画**」「**協力して諸問題を解決**」するためには、先生に言われた通りに動いたり、人任せにしたりせず、児童一人一人が**自分事として考え、意見を出し合い、協議を重ねていく**ことが大切です。このスローガンは、5・6年生が各学級に呼びかけ、出てきた案をもとに、自分たちの思いや願いをもとに何度も話し合い、作りあげたもので、エージェンシー獲得の第一歩と言えます。そのことは、6年生が自分たちで書き上げたスローガンの発表原稿にも表れています。今年も児童会活動を通して、**いまふく**っ子が、すばらしい学校を創り上げてくれると確信しました。

児童会活動のねらい

児童会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。

この他、児童総会や思いやり集会も計画しています。

月 日	主な児童会行事
4月30日(火)	1年生を迎える会
9月28日(土)	運動会
10月18日(金)	友情の人形記念日集会
3月6日(木)	6年生を送る会

委員会活動

委員会	活動内容
図書委員会	全校児童の読書活動を活性化するための取組を行う:本の紹介、貸し出し手続き、環境整備等
生活委員会	よりよい学校生活や健康づくりを推進するための取組を行う:あいさつ運動、人権にかかわる活動等

フォト いまふく



温かい空気に包まれて 4月30日(火)

入学式から3週間、今福小学校をもっと好きになってもらえるよう全校で「1年生を迎える会」を行いました。1年生へのインタビューや縦割り班での自己紹介、全校遊び(フルーツバスケット)などをして、笑顔あふれる楽しい時間になりました。1年生の二人も学校が大好きになったことでしょう。



安全に遊ぼう 5月14日(火)

業間休みに、生活委員会が「遊具説明会」を開催し、校庭の遊具一つ一つの正しい使い方、やってはいけないことを実演も交えてわかりやすく説明しました。



あいさつ 5月13日(月)、14日(火)

民生児童委員協議会の皆様が、登校する子どもたち一人一人に「おはようございます。」と声をかけてくださり、明るいあいさつの輪が広がっていききました。



陸上大会に向けて

今年も今福小学校伝統の「階段ステップ」で下半身の強化を図りました。6年生が進んで声かけをするなど、良い雰囲気の中で集中して陸上練習に取り組みました。



ゆうゆうと 5月15日(水)

こぶな学級、さなえ学級が全校へ呼びかけて始まったこいのぼりづくり。子どもたちが思い思いに色を塗ったミニこいのぼりを鱗のように身にまとい、5月の風に吹かれながら、青空へと高く舞い上がりました。



波佐小とともに 5月14日(火)

5・6年生は、6月4日、5日に江津少年自然の家で、波佐小学校と合同宿泊研修をします。そこで、事前学習会を行い、めあて(規律・協同・友愛・奉仕)やプログラムを確認しました。



おいしいお餅へ 5月9日(木)

新緑を揺らすさわやかな風が吹く絶好の田植え日和の中、地域の多くの皆様と一緒に今福小学校恒例の田植えをしました。

始めに、久佐と上長屋の田囃子保存会の皆様に「田囃子」を披露していただき、いざ田んぼへ。1年ぶりの田んぼ、足を取られながらも、下級生の手を引いたり、植えるコツを教えたりする上級生の姿は、とても立派に見えました。最後は、用意していただいた美又温泉のお湯で、足に着いた泥と疲れを洗い流して終わりました。今年は、これまでの「ヒメノモチ」からよりおいしい「ミコトモチ」に品種を変えられたそうで、どんなお餅になるか、一層楽しみになりました。

今福保育園のちびっ子応援団

